

個別事業(取組)評価				
事業No.	2	施策の柱への位置付け	柱① 学校・学級改革	
事業名称	理科教育推進プロジェクト		担当課	小中学校課
			当初予算額(千円)	4,046
			補正後予算額(千円)	-
			決算額(千円)	2,856

		当初計画	年度末点検・評価
①	現状(課題)とその要因	<p>【現状】</p> <p>本県の児童生徒は、理科の観察、実験は好きであるが、理論的に思考・判断、表現する力に課題があり、理科学力が十分に身につけていない。</p> <p>【H21理科アンケート結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 筋道を立てて思考・判断する学習に苦手意識がある児童生徒の割合 小6:51.4%、中3:59.0% <p>【H23到達度把握調査結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国平均を1とした時の正答率指数 小6:0.99、中1:0.95、中2:0.89、中3:0.91 	<p>ア 正確に把握していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>理科アンケート、到達度把握調査結果等のデータにより正確に把握している。</p>
		<p>【要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校においては、理科を専科教員が担当したり、また、中学校においては、学校に教科担当が一人であったりするなど、教員が勤務校で切磋琢磨し、理科の授業力を磨く機会に恵まれていないため、観察、実験の指導スキルや探究的な学習を展開する指導力が十分に身に付いていない。 県主催の集合研修も行われておらず、各市町村や任意の理科研究団体に研修の場が任されているが、中核的な教員が十分に育成されていないため、理科の教科研究が十分に深まっていない。 	<p>イ 十分に特定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>理科アンケート結果からも小学校教員の観察・実験の指導スキルが不十分であることが分かる。</p> <p>【H21理科アンケート結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実験器具や機器の扱い方が分からない教員の割合 小:21.3%、中:2.4% 火や薬品を使う実験などが怖い教員の割合 小:9.9%、中:4.9% 薬品の扱い方が分からない教員の割合 小:12.8%、中:0.0%
②	目標(Outcome)	<p>① 教員の理科の指導力を向上させるため、理科の実践研究を善導する中核教員を育成するとともに、教員養成のための拠点校を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 理数系教員(CST)養成拠点構築事業→7名 教科ミドルリーダー育成事業→5名 理科拠点校→4校(小2校、中2校) <p>② 児童生徒の科学的な思考力・判断力・表現力を高め、理科学力を全国水準に近づける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 理科思考力問題集の活用率→100% 	<p>ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>理科アンケートの結果や学校訪問等から適切な目標を設定している。</p>
		<p>【検証(比較)方法】</p> <p>① 理数系教員(CST)養成拠点構築事業における意識調査(受講者対象、拠点校対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科ミドルリーダー育成事業(理科部会)の授業力総合診断シートや研究報告書 <p>② 理科思考力問題集の活用状況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成24年度全国学力・学習状況調査結果 平成23年度到達度把握調査結果 	<p>エ 目標は達成されたか (Yes <input type="checkbox"/> No <input checked="" type="checkbox"/>)</p> <p>① 中核教員の育成、拠点校の整備は予定通り進んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 理数系(CST)教員養成→7名 CST受講者の意識調査「指導技術力、授業実践力、教材開発力の向上」について肯定的回答:90.0% 理科拠点校→4校(小2校、中2校) CST研修会を4拠点校で実施(参加教員延べ人数70名) ミドルリーダー養成→小・中学校各5名 <p>② 理科思考力問題集の活用率→小学校:98.1%、中学校:95.6%</p> <ul style="list-style-type: none"> 活用できていない学校(小学校4校、中学校5校)については、活用できていない理由を確認し、教育事務所を通じて指導した。(平成24年1月現在) (理由)学年末に復習として活用予定である。
③	実施内容(Input・Output)	<p>① 理数系教員(CST)養成拠点構築事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知大学と連携して、理科の中核となる教員を養成するためのプログラムと拠点校を整備する。 小・中学校理科担当教員連絡会の開催(5会場→東部1、中部2、西部1、高知市1) 理科支援員の配置(小学校5・6年の学級を対象) 小・中学校理科観察・実験基礎講座(教育センター主催)との連携 <p>② 理科思考力問題集の作成と配付(小5、中2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度到達度把握調査の実施 	<p>オ 計画通り実施されていたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>当初の計画通り実施できた。</p> <p>① 理科拠点校→4校(小2校、中2校)</p> <ul style="list-style-type: none"> 理数系(CST)教員養成→7名 小・中学校理科担当教員連絡会の開催(5会場→東部10/18、中部10/27・31、西部10/20、高知市10/25) 理科支援員の配置(小学校校、支援員19名) ミドルリーダー養成→小・中学校各5名 <p>② 高知県理科思考力問題集の作成と配付(小5、中2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 到達度把握調査の実施(小6、中1～3)
		<p>目標達成度 C 「No」を選択した項目 エ</p> <p>【総合評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本事業の実施により、CST受講者の理科教育力は着実に向上している。また、拠点校における研修会等を実施することで、地域の理科教育力の向上も図られてきた。 思考力問題集を多くの学校で活用することによって、児童生徒の科学的思考力や表現力を身に付けるなどの授業改善につながっているが、全ての学校での活用にはいたっていないなどの課題がある。 	<p>【今後の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成24年度も理数系教員(CST)養成拠点構築事業を継続し、中核となる教員の育成を行う。 育成した中核的な教員が中心となり、各地域において研修等を実施することで、県全体の理科教育力の向上を図る。 理科思考力問題集については、対象学年を拡充し作成・配付を行うとともに、研修会等を通じて活用の徹底を図るとともに、授業や家庭学習での活用実践事例を普及していく。
総合評価と今後の方向			